

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 29.3.3 第 193 回国会第 2 号

3月3日（金）、第2回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・松野文部科学大臣、丸川国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

亀岡 偉 民君（自民）

- ・再就職等問題により、現在の文部科学省の信用失墜は取り返しのつかないものである。出来る限り早く体制を健全化させ、新たな奨学金制度の創設など所信で述べた政策の実現に取り組む必要があると考えるが、松野大臣の決意を伺いたい。
- ・平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会開催の効果を全国に広げ地方活性化に資するための取組について、野球・ソフトボールの福島開催等の実現は、福島の風評被害を払しょくし、復興再生に大きく寄与するものであることから、国が主体となって取り組むべきであると考えているが、丸川大臣の見解を伺いたい。
- ・国家戦略特別区域における義務教育段階のICTを活用した遠隔教育について、内閣府における議論の中で、教室に教員がいなくてもいいとか教員に免許が必要ないといった主張がなされていると聞いている。こうした主張は義務教育の根本を揺るがしかねないものと考えているが、松野大臣の見解を伺いたい。

富田 茂之君（公明）

- ・文部科学省における再就職等問題について、公僕としての原点をもう一度確認してもらいたい、どうしたら違法な天下りの構造をなくすことができるのか、答えを導き出す必要があるとの指摘がなされているが、松野大臣の見解を伺いたい。
- ・夜間中学については、法律を整備し、予算の措置等を行っているにもかかわらず設置が進まない状況であるが、平成31年4月に県内2校目の夜間中学の開設を表明している千葉県松戸市に対し、国として今後どのように支援していくのか、松野大臣に伺いたい。